

みさき

80号



議会HPへアクセスします



MISAKI, CHO, OKAYAMA OFFICIAL
インスタ始めました!

美咲町議会だより

2025年5月9日発行

＜特集＞ひと輝くまち みさき 青野町長施政方針……………②～③

主な内容 こんなことが決まりました……………⑧～⑨

全議員14人が町政を問う……………⑬～⑳

新生美咲町議会に期待します……………㉒～㉓



松田

左居

松島

山本宏

延原

三船

中西

小林

山本資

藤井

矢吹

江原

大天

板垣

勢揃いした美咲町議会議員14人（議場）

美咲町HPアドレス <https://www.town.misaki.okayama.jp>

特集

ひと輝くまち みさき

青野町長 施政方針



美咲町は令和7年3月22日に旧中央町、旧旭町、旧柵原町の3町が合併して20周年という大きな節目を迎えます。
 記念式典については、令和7年秋ごろを予定しており、これまで美咲町を支えてくださった人への感謝の意を表するとともに、30周年に向けた新たな美咲町の門出としたいと考えています。
 合併20周年を町民皆さんで盛り上げていただきたいと思ひます。

大規模プロジェクトの完成

三大プロジェクトも最終局面を迎え、全ての施設が本年度中に完成する予定だ。新庁舎移転に合わせてデジタル技術を活用し新しいサービスを住民の皆様にご提供できるよう、DXの推進に取り組む。



公共インフラの老朽化対策

日本のインフラの多くは高度成長期に整備され、耐用年数50年と言われるインフラの寿命が来ている。住民に選ばれる、安心して暮らせる町として、公共インフラの維持・管理に努める。



行財政改革

行政改革により新しく生み出したヒト、カネ、モノといった資源を未来への投資として活用するとともに、今後避けては通れない上下水道や道路などのインフラの改修に充てなければならない。



こども・子育て支援

子育て支援策は最高の高齢者福祉支援策でもあると考えている。町民の皆さんも子育て支援を自分事として捉え、地域ぐるみで子どもの成長を支えていただくよう、協力をお願いする。



美咲町防災計画

町は公共施設の集約化に取り組んでおり、70カ所の指定避難所を60カ所に集約するが、より安心できるよう配置や施設内容、防災計画の見直しを行い、災害に強いまちづくりを進める。



広域化の推進

行政サービスの充実や行政事務の効率化の観点から、広域的に処理すべき事務と単独で処理すべき事務を区分し、特に効率化を図るべき事務については、広域化の推進に努める。



重層的支援体制整備について

従来の縦割り支援では解決に導くことが難しい複雑で複合的な課題を抱える個人とその世帯に対し、一体的・総合的な支援を行う重層的支援体制整備事業に取り組む。



令和7年度当初予算

スマート農業

こども・子育て支援

美咲町防災計画

みさき秋祭り

大規模プロジェクト

合併20周年

重層的支援体制整備

美咲町議会議員選挙

学校教育活動

インフラ老朽対策

公共交通会議

振興計画

小規模多機能自治

ふるさと納税

広域化の推進

官民共創

带状疱疹ワクチン

物価高騰対策

統計調査

行財政改革

※文字の大小は緊急性・重要性を特定するものではありません。

施政方針に対する質疑

公共インフラの老朽対策

山本資 議員



問「衛星からの電波を利用した漏水調査」の実施について、具体的にはどんな調査方法か。

答人工衛星からレーダーを照射し、水道水が混ざった土壌特有の反射特性から水道水と非水道水を区別し、透過して得た画像を解析し、漏水の疑いがあるエリアを判定するもの。

こども・子育て支援

藤井智江 議員



問「子育て環境の整備」とは具体的にどのようなものか。

答現在策定中の子ども計画の中に、就学前教育や学校教育の充実、こども・若者の居場所づくり、子育てに配慮した生活環境の整備など、基本目標を設定し、取り組んでいくこと。

物価高騰対策支援金

板垣正寿 議員



問水道基本料金について、多子世帯に対して同時期における他の物価高騰対策はないか。

答多子世帯に別の支援が無いかとのことだが、この物価高騰対策は、町内の全世帯が対象となる。従来から水道基本料金の補助を行っている多子世帯への、追加の補助は予定していない。

令和7年度
当初予算案

10

項目の意見を付して

全会一致で承認



各委員が予算や事業内容をチェック

4日間にわたり予算特別委員会を開催し、令和7年度予算案について各委員からの意見を集約。



予算特別委員会の報告書を
松島議長へ提出

予算審査において、各委員から出された指摘事項10項目をまとめた報告書を矢吹委員長、板垣副委員長から松島議長へ提出。



議会からの要望書を青野町長へ提出

予算特別委員会からの報告書を基にまとめた議会からの要望書を松島議長、左居副議長から青野町長へ提出。

予算特別委員会からの報告

予算特別委員会は、新年度で執行される予算が適正なものであるかを確認するため、全ての課が所管する予算について審査を担当しています。

委員長／矢吹一郎 副委員長／板垣正寿 ほかに全議員を委員とする14人で審査しています。

全体総括意見を付す！

本会議での委員長報告において指摘した特に付しておくべき意見は以下の通りです。

意見 活性化のための 未来への取り組みは

3大プロジェクトが完了期を迎えハード事業が着実に進みつつある今こそソフト面の充実が求められる。教育環境の充実や地域経済の活性化、子育てや福祉に関する支援策を強化し、住民一人ひとりが希望を抱ける新たな町づくりの推進を求める。

意見 重層的支援体制 整備事業の推進

本年度より福祉事務所が県に移管し、新たに福祉しあわせ課が新設され重層的支援体制整備事業が本格的に実施される。事業内容が、町民に伝わりやすい体制整備と地域に出向いていくアウトリーチ支援など、住民に優しい福祉サービスの充実を求める。

意見 民生委員児童委員 の成り手不足対策

重責を担いながら地域福祉の向上に、御尽力いただいている民生委員児童委員の御労苦に報いるため、処遇改善の一環として町独自の手当支給や活動経費の増額を検討すること。また、活動の重要性を広く周知し担い手不足の施策の充実を求める。

意見 急を要する 定住施策の充実を

人口減少に歯止めがかけられないなか、移住者の獲得競争に偏らず、現在住んでいる若者世代を含む全ての町民が安心して暮らせるように、さらなる子育て支援や医療、生活環境の充実に注力し、住民生活の質を向上させ、若者の地域への愛着心と定住意欲を強化すること。

意見 住民意見を反映した 公共施設の活用

利用率が低下している公共施設の活用は、地域住民の意見を反映させた運営方針が必要であり、施設の設定目的に基づいた活用を基本とし、サウンディング調査による民間との協働や指定管理制度を進める際には、住民への丁寧な説明と合意形成を求める。

意見 合併20周年 記念事業について

本事業は町民の一体感を醸成し地域の魅力を再発信する好機である。記念式典に際しては、町民に喜ばれる「美咲町ならではの独自性の高い事業」となり、未来を見据えたビジョンの発信ができる積極的な事業の推進を求める。



● 9月定例会：前年度決算を審議・認定

● 議会の指摘・意見のとりまとめ
● 新年度予算などへの要望書を提出

● 3月定例会：新年度予算案を審議・承認

予算特別委員会では、決算審査で指摘した内容が「新年度予算に反映されているか」という視点で審査を行いました。

予算審査 私の意見!

一般会計 112億5,457万円 (前年比19.1%減)
 13特別会計 49億418万円 (前年比2.1%減)
 公営企業会計 18億2,567万円 (前年比1.5%減)

[※決算額は1万円未満四捨五入]

全議員14人を委員とする令和7年度歳入歳出予算特別委員会が設置され、3月5日から4日間にわたり予算審査を行いました。

今回の審査では、決算審査における議会からの要望事項が、新年度予算(案)および行政施策などに反映されているのかといった点を中心に審査を行いました。

ここでは各委員から出された多くの指摘事項のうち主な意見を掲載します。

衛星を使っての水道漏水調査について負担金が発生するが、有効な調査結果を求める。

衛星漏水調査の早期実施を
山本宏治委員



民生委員児童委員の処遇改善に関して、町独自の対応を重ねて強く求める。

民生委員児童委員の処遇改善
松島委員



補助金の交付に当たっては公平かつ透明性のある運用を求める。

適正な補助金交付を
三船委員



安全・安心

主な事業 公共施設管理、防災、国際交流、情報通信 など

総務費 20億7,864万円 衛生費 10億284万円

福祉・教育

主な事業 高齢者福祉・障がい者福祉、児童福祉、学校教育 など

民生費 32億2,689万円 教育費 8億4,528万円

重層的支援事業は多くの部署の関わりとなる。しっかりとした事務の遂行を求める。

重層的支援体制整備事業
左居委員



人口減少に見合った町の運営規模、公用車、職員数など計画の策定を求める。

人口減に対応した町運営を
則吉委員



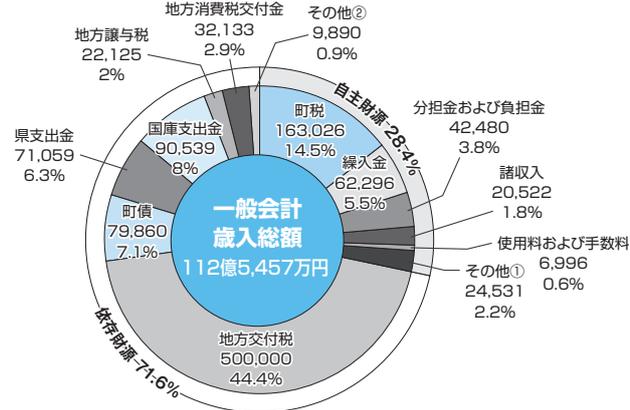
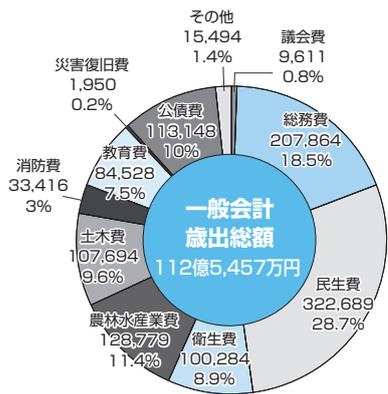
育児支援・家事支援・見守り支援などの複合的な支援の強化を求める。

子育て世代の支援強化
藤井委員



令和7年度美咲町歳入歳出当初予算

(単位:万円)



※端数処理(四捨五入)により合計が一致しない場合があります。

財政用語【解説】

- [町債]…事業の財源に充てるため国などから借りたお金
- [国・県支出金]…町が行う事業に対して国・県から補助されるお金
- [地方交付税]…町の財政力に応じて国から交付されるお金
- [民生費]…児童・障がい者・高齢者福祉などの社会保障経費
- [総務費]…公共施設管理、国際交流、交通安全対策などの経費
- [教育費]…小・中学校、公民館、図書館、生涯学習を推進するための経費
- [公債費]…事業を行うときに借りたお金の返済金

現在使用中の公共施設について、将来を見据えた計画と展望を示すよう求める。



公共施設の未来ビジョンを

小林委員

合併特例債で未対応の老朽化した公共施設・借地の早急な対応を求める。



合併特例債未対応の老朽施設の対応は

松田委員

議会では真摯な審査を行っている。予算執行に当たっては真摯な執行を求める。



適切かつ厳正な予算執行を

延原委員

特別会計・水道事業会計

主な事業

みさきネット、国民健康保険、介護保険、上・下水道 など

特別会計事業 49億418万円

公営企業会計事業 18億2,567万円

産業・建設

主な事業

農林業振興、道路整備、観光、災害復旧、企業誘致 など

農林水産業費 12億8,779万円

土木費 10億7,694万円

現在町に居住している住民の定住意欲を向上させるための、全般的な施策の実施を求める。



定住意欲の醸成

形井委員

地域おこし協力隊の担当課の明確化と起業支援、定着率の向上を求める。



地域おこし協力隊の担当課は

中西委員

支障木伐採のため高所作業車を導入予定だが、地域への貸出と安全管理の計画作成を求める。



高所作業車の運用は

山本資委員

重層的支援体制を強化

一般会計当初予算112億5,457万円など52件の議案が議決されました。

新たな分譲宅地を整備

若者定住施策を充実させるため、飯岡、書副、東埴和などへ新たな分譲宅地を計10区画程度造成する。

〔用地取得造成費 7,634万円〕



合併20周年記念事業

合併20周年記念の行事を今秋に予定し、記念式典と記念事業(出張!なんでも鑑定団の誘致)を計画している。

〔合併記念事業費 231万円〕



陳情・要望

「持続可能な学校の実現をめざす」
実効性ある働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択を求める陳情書

岡山県教職員組合
久苦支部

支部長 小川 和之氏

子どもたちの豊かな学びのためにも持続可能な学校の実現は重要であり、全会一致で採択とした。

議員発議

「持続可能な学校の実現をめざす」
実効性ある働き方改革、長時間労働是正を求める意見書

教職員定数の改善、部活動の地域移行推進に向けた財政措置、学習指導要領の精選、標準授業時数の削減など具体策を示した持続可能な学校の実現をめざすことを求める意見書を日本政府に対して送付した。

条例

課設置条例の一部改正

福祉施策の充実を図るため、これまでの「長寿しあわせ課」を「保険年金課」に改め、新しく「福祉しあわせ課」を設置する。

契約

◎契約の提案があり審議の結果、全会一致で承認した。

【工事請負契約】

◇飯岡コミュニティセンター新築工事(飯岡)

ライフデザイン・カバヤ(株)・(株)ベ
ン建築設計共同企業体(岡山市)

4億1,800万円(税込)

◇大埴和コミュニティセンター新築工事(大埴和)

(株)山本工務店・(株)丹羽建築設計事務所共同企業体(津山市・岡山市)

2億900万円(税込)

◇旭総合支所施設解体工事(西川) 佐藤建設(勝央町)

7,480万円

◇柵原クリーンセンター施設解体工事(連石)

(株)前田産業(熊本市)

1億5,840万円(税込)

【財産の譲渡】

◇旧柵原中学校施設の譲渡(下谷)

(株)美作マテリアル(美作市)

1,505万円

◇倭文西財産区の土地および立木譲渡(南)

江与味製材(株)(美咲町)

1,800万円(税込)

3月議会

でこんなことが
決まりました

福祉施策充実に向けて

令和7年2月25日から3月14日まで定例議会が招集され

水道基本料金が3ヵ月間無料

物価高騰対策として水道利用者の負担を軽減するため、水道基本料金(1,650円)7~9月の3ヵ月分を町が負担する。

〔企画費 3,000万円〕



重層的支援体制を整備

高齢者・障害者・子ども・生活困窮者への事業に対して、一体的・包括的な支援体制を構築する。

〔社会福祉総務費 1億60万円〕



町公式ホームページを更新

インターネット上の美咲町公式ホームページを使いやすい内容にリニューアルし、利便性の向上を図る。

〔総務一般管理費 1,540万円〕



給食材料物価高騰への対応

子どもたちの給食材料費物価高騰に対応するため、値上がりした分を公費で負担し保護者負担の軽減を図る。

〔給食費支援事業費 1,007万円〕



人事

教育長の選任に同意

教育長の選任が提案され全会一致で同意した。任期は令和10年3月31日までの3年間。



藤原 敬三(新任)

表彰

地方自治の進展に尽力

議員活動を通じて多年にわたり地方自治の進展に尽くした功績が認められ、美咲町議会から松島議員、松田議員が受賞しました。

◆全国町村議会議長会
町村議会議員特別表彰



松島 啓議員

◆全国町村議会議長会
自治功労者表彰

◆岡山県町村議会議長会
自治功労者表彰



松田 英一議員

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、税務課、上下水道課、産業観光課、建設課、みさき共創室、各総合支所地域振興課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。
委員長／山本宏治 **副委員長**／延原正憲 **委員**／中西伶王、矢吹一郎、山本 資、松田英二、松島 啓の7人で審査しています。

【理財課】 補助金返還金の減額

問 旧柵原グリーンセンターの施設を除却するための費用が減額されているのはなぜか。

答 国からの補助金8,700万円の返還が免除となったため。

【総務課】 課の新設および名称変更

問 課の名称や役割はどのように変更されることになるのか。

答 福祉行政の司令塔を担う福祉しあわせ課を新設し長寿しあわせ課を保険年金課に変更する。

【地域みらい課】 中間管理住宅の運営

問 中間管理住宅の運営方法はどのようなものになるのか。

答 空き家を町がリフォームして、子育て世帯などに貸し出すもので、運営方法を定めた条例を制定する。



(西川地内)

3月3日、総務・産業常任委員会では、西川地内に整備されている中間管理住宅の現地確認を行った。

リフォーム工事の状況と新年度からの運営方法について確認した。

【くらし安全課】 防火水槽新設を来年度に延期

問 防火水槽新設など消防設備の予算が減額されているが、設置を取り止めたのか。

答 物価高騰のため工事費が約1.5倍必要になったことから来年度に延期して改めて検討する。

【産業観光課】 新たな基金条例を設置

問 新しく基金の設置を考えているようだが、その内容は。

答 飼料価格高騰に対応する畜産振興基金と観光振興に対応する観光振興基金である。

【上下水道課】 上下水道の耐震化計画

問 水道・下水道の耐震化を進める計画を策定しているようだが、どのような内容なのか。

答 7年度から5カ年計画で浄水場・ポンプ施設・送水管などの施設に補強工事を施す。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民生活課、長寿しあわせ課、健康推進課、こども笑顔課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課、各総合支所地域振興課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／形井 圓 副委員長／小林達夫 委員／則吉洋介、三船博之、板垣正寿、藤井智江、左居喜次の7人で審査しています。

【住民生活課】 パスポートの申請

問 パスポート申請手続きの方法が変わったのか。

答 従来の窓口申請に加え、オンラインによる申請が可能となった。

【長寿しあわせ課】 人間ドックの受診申込

問 人間ドックの申込期間の変更は考えられないか。

答 制度的なことでは不便をかけているが、申込期間の見直しを検討したい。

【健康推進課】 産後のサービス利用

問 産後のサービス利用の状況は。

答 本年度初めて実施したが、現在デイサービスが2件、訪問が1件である。



2月28日、民生教育常任委員会では、完成間近である、こども第三の居場所の現地調査を行い、工事の進捗状況を確認した。

【こども笑顔課】 育児支援手当の減額

問 育児支援手当の400万円の減額理由は。

答 子どもの数の減少、家庭での保育の減少により育児支援手当が減額になった。

【福祉事務所】 障害福祉費の増額

問 障害福祉費2,100万円の大増額理由は。

答 障がい者の施設利用や訪問サービス利用が増加したため。

【生涯学習課】 中央体育館の更衣室

問 以前まであった更衣室がなくなっているがどうするのか。

答 施設の状況を見ながら更衣室の設置に向けた協議を進めていく。

多数の契約案件を承認

1~3月
臨時議会
でこんなことが
決まりました

令和7年1月14日、2月12日、3月21日にそれぞれ臨時議会が招集され、一般会計補正予算1,470万円など13件の議案が議決されました。公共施設集約化に関連して、年度末までに成立させなければならない案件が集中しました。

低所得世帯の負担軽減

国の政策により低所得世帯に対して支援金を支給する。

〔社会福祉総務費 692万円〕



あさひが丘の施設を改修

特別養護老人ホームあさひが丘の老朽化に伴う改修工事の予算を増額する。

〔老人福祉施設費 880万円〕



債務負担の金額を増額

今年度から来年度にかけて実施する自然災害防止事業の予算額を8,500万円増額する。

〔債務負担行為補正 2億6,500万円〕



契約

◎ 契約の提案があり審議の結果、全会一致で承認した。

〔工事請負契約〕

◇ 役場本庁舎解体撤去工事(原田)

エヌエス日進(岡山市)

1億4,960万円(税込)

◇ 柵原東小学校解体撤去工事(行信)

エヌエス日進(岡山市)

1億9,800万円(税込)

◇ 柵原西小学校(2工区)解体撤去工事(小瀬)

(株)月の輪建設工業(美咲町)

1億7,820万円(税込)

契約変更

◎ 契約変更の提案があり審議の結果、全会一致で承認した。

〔工事請負契約の変更〕

◇ 多世代交流拠点設計・施工(原田)

ライフデザイン・カバヤ(株)・(株)丹波建築設計事務所共同企業体(岡山市)

22億4,714万6,000円(税込)

◇ 旭多世代交流拠点設計・施工(西川)

(株)五月工建・(株)塩飽設計共同企業体(津山市・笠岡市)

8億8,550万円(税込)

◇ 多世代交流拠点消防機庫新築(原田)

(株)月の輪建設工業(美咲町)

1億2,766万3,800円(税込)



町政を問う

一般質問は町民を代表し、
町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
14	左居 喜次	◎ 防災備蓄の確保をどう進めるのか ◇ どうする遊休農地
14	小林 達夫	◎ 民生委員のなり手不足の対策は
15	山本 宏治	◎ 地域活性化に向けた政策は ◇ 町の偉人を顕彰できないか
15	延原 正憲	◎ 一般質問への答弁を検証する
16	松田 英二	◎ 諸課題に対応できる予算編成を
16	中西 伶王	◎ 食料供給困難事態対策法への考えは ◇ 買い物弱者支援の強化を
17	山本 資	◎ 柵原学園の通学体制を総括したか
17	則吉 洋介	◎ 庁舎移転後の跡地利用の方向性は

ページ	議員名	質問内容
18	藤井 智江	◎ 安全な通学路の見通しは ◇ 加齢性難聴補聴器の助成はできないか
18	三船 博之	◎ 振興計画の検証・総括は ◇ 農業振興の充実は
19	板垣 正寿	◎ つなぐ棚田遺産の保全対策を ◇ 集落支援員制度のさらなる整備を
19	矢吹 一郎	◎ 第四次振興計画策定経過は
20	形井 圓	◎ 起債償還に伴う他事業への影響は ◇ 黄福タクシーなどをどう見直すのか ◇ 特別職報酬や職員給与の見直しを
20	松島 啓	◎ ゴルフ・eスポーツを部活動に ◇ 美咲町誕生から20年を振り返って

岡山県指定史跡 月の輪古墳

議会だよりには、1問掲載
しています。
各議員の質問については、
誌面のQRもしくは
美咲町YouTubeチャンネルで
確認していただけます。



左居喜次(さこ よしつぐ)議員

質問 防災備蓄の確保をどう進めるのか

質問

答弁 平時から準備し充実を図る

答弁



問 防災備蓄は、不幸にして災害に遭遇した人たちの命を繋ぎ止め、日常の生活環境に近づけ、ストレスを軽減し、復興への活力を保つなど、災害に対応していくうえで非常に重要である。自治体として防災備蓄の必要性をどのように捉えるか。

また、今後町として防災備蓄の確保をどのように進めていくのか見解を示されたい。

答 青野町長 災害対応とは、内部資源の活用と外部資源の調達による総力戦である。



忘れないでください
必要な時が必ず来ることを

内部資源には、物資、資機材の備蓄、整備もあるが、自主防災組織や防災士ネットワークの活動も大切な要素である。本町が備える防災備蓄品を活用しながら、外部からの支援をいかに調達するか、平時から準備する必要がある。本町では、県から示された目標備蓄量を参考に、備蓄品の確保に努めている。

今後は、防災備蓄品の充実を図るとともに、災害時の応援協定をさらに進め、まちの防災力を高めたいと考えている。

今後は、防災備蓄品の充実を図るとともに、災害時の応援協定をさらに進め、まちの防災力を高めたいと考えている。

質問 民生委員のなり手不足の対策は

質問

答弁 新たな検討チームの運営を推進

答弁



小林達夫(こばやし たつお)議員



いつもありがとうございます

問 本町には民生委員児童委員会などさまざまな委員会があるが、高齢化が進み交代できないと聞く。

なり手不足解消に向けた対策や考えはあるか。

答 青野町長 地域力創造アドバイザー制度を活用し、この問題に詳しい方を招き、持続可能な活動の検討を行っている。

委員の皆さんと話し合いの場を持ち、状況を話し合っていく必要があるということから、委員13人で構成する検討チームを立ちあげた。

新たに担い手確保対策に取り組んでいく。

また、国や関係機関などに処遇改善の積極的な要望を働きかけた」と考えている。

答 草地福祉事務所長 地域の実態や課題に応じた独自の取り組みを行うため、検討チームの運営を推進し、その意見をもとに、今後を担う世代にも活動しやすい環境整備の研究を進めていく。

草地福祉事務所長 地域の実態や課題に応じた独自の取り組みを行うため、検討チームの運営を推進し、その意見をもとに、今後を担う世代にも活動しやすい環境整備の研究を進めていく。



山本宏治(やまもと こうじ)議員

質問

地域活性化に向けた政策は

答弁

産業団地造成を要望している



県北での産業団地造成については、1市5町で構成する津山圏域定住自立圏で県に要望をしております。協議をしていきたいと考えています。

美作岡山道路の完成後の飯岡地域の活性化をどうするのか。

答

青野町長

若者定住対策や雇用の場の創出は、町が取り組むべき重要課題であると認識をしています。

三大プロジェクトも完遂したが、今後の地域活性化をどのように考えているのか。

問



地域活性化に夢を(産業団地適地調査)

答

米本産業観光課長

産業団地適地調査で錦織地区がより適正地であると判断し、現在、役場内の関係課で事業調整会議を組織し、産業団地建設に向けた協議を重ねている。

答

山本政策推進監

美作岡山道路の広域交通網を活かした企業誘致や道の駅、工業団地など地域活性化に夢を抱いている。

質問

一般質問への答弁を検証する

答弁

これまでの見解を踏襲した答弁



延原正憲(のぶはら まさのり)議員

問

この四年間の私の一一般質問、延べ20項目のうち次の答弁について再度確認したい。

美作岡山道路事業への対応のための柵原総合支所への専門職員の配置は。

答

牧野柵原総合支所長 庁舎内に美作岡山道路関連事業調整会議を設け対応している。

問

老朽危険家屋対応の行政代執行の実施は。

答

光嶋地域みらい課長 空家対策協議会において手続きを進めているが、所有者の責任で解体するよう交渉も続けていく。

問

鳥獣被害防止対策協議会の活用は。

答

米本産業観光課長 協議会で効果があつた事業の提案を受け、町の施策に反映したい。

問

防犯機能付電話購入補助金の町内業者からの購入条件解除は。

答

水島くらし安全課長 高齢者に寄り添って対応できる町内業者からの購入と定めている。

問

公営住宅トイレ水洗化などの環境整備は。

答

篠原住民生活課長 施設の状況や入居者の意向、将来ニーズなどを考慮して、総合的に判断していく。



課題は山積みです



松田英二(まつだ えいじ)議員

諸課題に対応できる予算編成を

質問

将来に負担を残さない予算を考慮

答弁



問 令和7年度の予算編成基本方針はどのようなものなのか。

答 令和7年度の一般会計当初予算額は112億5千万円である。これからの人口減少時代を見据え、将来に負担を残さないまちづくりを進めていけるよう予算を編成した。

問 直面する諸課題に対応できる予算は確保できているのか。

答 ①公共工事の賃金や資材が高騰することで工事請負費が増加する。②団塊の世代が後期高齢者に移行することで国民健康保険の運営が

①公共工事の賃金や資材が高騰することで工事請負費が増加する。②団塊の世代が後期高齢者に移行することで国民健康保険の運営が

③ガソリン代の値上がりによって公共交通の運行に支障が出る。④水島くらし安全課長を踏まえた予算とし、価格変動やガソリン税の動向などを注視していく。

一般会計当初予算額の比較 (歳入抜粋)

	令和3年度	令和7年度	増減率
町税	11億9576万円	16億3026万円	136.30%
地方譲与税	1億7188万円	2億2124万円	128.70%
地方消費税	2億4057万円	3億2133万円	133.50%
地方交付税	46億3000万円	50億円	108%
分担金・負担金	4974万円	4億2480万円	854%
国庫支出金	8億3847万円	9億538万円	108%
県支出金	6億7883万円	7億1058万円	104.60%
寄附金	6721万円	1億5500万円	230.60%
繰入金	16億7130万円	6億2296万円	37.20%
町債	17億2050万円	7億9860万円	46.40%
合計	115億2013万円	112億5456万円	97.70%

食料供給困難事態対策法への考えは

質問

関係者に正確な情報提供を行う

答弁



中西伶王(なかにし れお)議員

問 食料供給困難事態対策法が本年4月1日から施行される。この法律について、本町としてどのように考えるのか。

答 米本産業観光課長 食料供給困難事態対策法とは、国民への食料の供給が困難となる事態や、その深刻化を防ぐための新たな法律である。

この法律は、食料供給が大幅に不足、または不足するおそれが高い場合に、供給量を正確に把握する観点から、国から生産者へ食料の生産計画の作成指示ができる旨などを規定している。

問 増産の要請や計画書の提出を怠った場合の罰金など、多くの農家が不安や疑問を抱いている。この法律について、詳しく説明する機会を本町で設けることはできないか。

答 米本産業観光課長 現時点で本法令に関する意見交換の開催は考えていないが、農業全般についての話し合いの場で情報提供を行っていく。



どうする農業

本町としては国の動

向を注視し、関係機関や関係団体との連絡体制の構築を行いながら、町内の関係者に対して正確な情報提供を行っていく。



山本 資(やまもと たすく)議員

質問

柵原学園の通学体制を総括したか

答弁

児童生徒の安全な通学に努める



問 柵原学園が開校して1年を迎えた。一部には徒歩・自転車通学の児童・生徒もおり、道路整備が進むと車両のスピードは速くなり危険度が増している。保護者は子どもを送り出し、帰宅までが心配なことと思う。通学を総括し、さまざまな要望が出され対策が必要ではないか。

答 結石教育総務課長 柵原学園開校後、地域の皆様には、児童・生徒の登下校時の安全・安心に対し、各所で見守りや街頭指導を行っている。本町での通学距離の基準に照らし合わせ、学校までの距離によってその通学方法を定め、確認していただき、8回の部会、10回の開校準備委員会で協議を重ね、適切と判断いただいた通学方法および通学路となった。児童生徒の安全に関わることで、順次関係機関と協議し、地域のご理解とご協力をいただき、対応可能な対策を進めている。中央・旭・柵原のバランスを図りながら、安全な通学に努める。



子どもの安全安心通学を

質問

庁舎移転後の跡地利用の方向性は

答弁

具体的な構想をみんなで



則吉洋介(のりよし ようすけ)議員

問 本庁舎移転後の跡地について、公的な活用あるいは民間譲渡など、具体的な方向性は決まっているか。

答 青野町長 本庁舎移転後の旧庁舎は5月頃から解体工事に着手し、令和7年度中に完了する見込みである。役場跡地は現況と登記簿との内容が合わない問題もあり、難しい状況であるが、亀甲駅周辺は美咲町の顔として魅力と可能性がある。加美まちづくり協議会による跡地活用に向けたアンケートも実施されている。活性化のためには人の力が必要であり、自分事として多くの人に關わってほしい。腰を据えて、具体的な構想をみんなでつくってきたい。



にぎわいの創出を



藤井智江(ふじい ともえ)議員

質問

安全な通学路の見通しは

答弁

緊急性・優先性を踏まえ順次対応



安全確保を確実に

問 ①学校給食費の無償化はできないか。

②学園・学校の通学路の整備、楽器などの備品、学校の設備、部活動についてどう検証されたか。12月議会の検証結果について黒瀬教育長に問う。

③文科省が中学校も35人学級を打ち出したがどう対応するのか。

答 結石教育総務課長 ①国や他市町村の動向を注視し、情報収集していく。

②自治会、PTAや学校などの要望は関係機関と協議を重ね、対応可能な取り組みに努め

ている。

③法に基づき適正に対応する。

答 黒瀬教育長 ②それぞれ予算の範囲内で協議、対応を進めていく。

問 ①給食費を無償化した場合の予算、物価高騰分助成予算額はいくらか。

②安全な通学路の見通しは。

答 結石教育総務課長 ①無償化した場合約4,600万円。物価高騰分の助成額は約1,000万円。

②緊急性・優先性を踏まえ順次対応している。

質問

振興計画の検証・総括は

答弁

現在、評価・検証を行っている



三船博之(みふね ひろゆき)議員

美咲町の未来を担う

小規模

多機能

自治

問 振興計画の検証・総括・議会への報告、また小規模多機能自治の進捗、第四次振興計画の策定は。

答 青野町長 コロナウイルス感染症による行動制限、ウクライナ情勢による物価高騰の影響を受けながらも、公共施設の整備・処分、行財政改革、小規模多機能自治の推進は議会並びに町民のご協力により着実に前に進んでいる。

現在、第四次振興計画は、アンケート調査を終えて令和7年9月策定をめどに、充実した基本方針を検討中である。

答 光嶋地域みらい課長 現在、評価・検証を行っており、美咲町振興計画審議会を経た後に議会へ報告する。

小規模多機能自治は令和7年度、9地域が組織化の予定である。

また、第4次振興計画については、バックキャストイングの必要性も認識している。

問 行政運営について、町民や職員への浸透度を広げる考えは。

答 忠政副町長 職員が地域へ出向き、認識をひとつにして、しっかりと浸透させていく。

議員はお中元やお歳暮を出すことが禁止されています。



板垣正寿(いたがき まさとし)議員

質問

つなぐ棚田遺産の保全対策を



答弁

地元と協議し協力していく

問 令和4年、本町は「大坪和西の棚田」と「小山の棚田」が「つなぐ棚田遺産」に選定された。地元農業者のご尽力により現在の状況をかろうじて保っているが、今後、後継者不足によりさらに荒廃していくことが予想される。対策をどう考えるか。

答 米本産業観光課長 米本産業観光課長「小山の棚田」では毎年、旭学園児童が農作業を体験し、農業の大切さを学んでいる。「大坪和西の棚田」では、地域おこし協力隊が中心となつてさまざまな作業を体験し、農業の大切さを学んでいる。地元関係団体などと最善の方向性を模索しながら、つなぐ棚田遺産の保全に向けて協議し協力していく。



結の作業で「はざかけアート」

質問

第四次振興計画策定経過は



答弁

令和7年秋頃に策定



矢吹一郎(やぶき いちろう)議員

質問

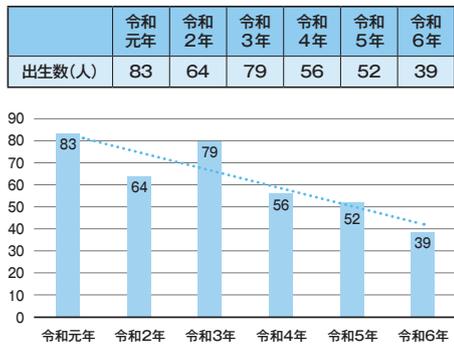
①美咲町第3次振興計画の最終年度の期限が迫る中、新たな第四次振興計画策定に際しての趣旨と計画の概要は。

答 青野町長 第三次振興計画では「賢く収縮するまちづくり」を進め、持続可能なまちづくりを目指してきた。第四次振興計画の体

系の基本方針や基本政策を検討する中で、知り得た「衝撃的なデータ」に対応するため、少子化対策、若者世代の定住対策を最重要課題と位置づけ、現在、重点的かつ戦略的に取り組むよう見直し、令和7年秋頃に策定を予定している。

令和6年の美咲町の出生数は、町全体で39人であった。この事を踏まえ、若者世代を中心とする未来会議の開催など町の将来世代の意見や考えを十分に把握し、計画に反映させていきたい。

美咲町出生数(厚生労働省・人口動態から引用)





形井 圓(かたい まどか)議員

起債償還に伴う他事業への影響は

質問

総事業費は110億円の見込み

答弁



町の将来のために

問

旭学園・柵原学園・多世代交流拠点施設整備事業の総事業費・起債の総額・償還時における町の実質負担額は。

また、償還に伴い他の事業に影響はないか、財政計画を示せ。

答

青野町長

町の将来を担う子ども世代のため、多世代交流拠点などの大規模事業に合併特例債を活用し取り組んできた。

今後、起債償還による財政負担が見込まれるが、財政の健全性を維持しながら持続可能な財政運営に努める。

答

林田理財課長

事業費は、旭学園6億8千万円、柵原学園52億3千万円、多世代交流拠点施設整備事業50億9千万円。総額110億円。起債総額は89億9千万円の見込み。

起債は、合併特例債・過疎債を活用しており、償還時に70%程度の交付税措置があり、実質の町の負担は32億8千万円。令和5年度末の基金残高は、91億5千万円。不要な公有財産の売却、補助金の見直しなどを実施し、財源確保に努める。

ゴルフ・e スポーツを部活動に

質問

仕組みづくりに努める

答弁



松島 啓(まつしま ひろむ)議員

問

町民が、年齢・性別・障がいの有無などに関わらず、スポーツに親しみ、健康増進を図る環境が必要ではないか。

答

黒瀬教育長

令和7年度までの美咲町生涯スポーツ推進計画を策定し、スポーツの機会充実、環境づくりの推進、推進体制の再構築を柱に、豊かなスポーツライフの実現を目指している。

答

平賀生涯学習課長

定期的な体を動かす講座の企画など、フレイル予防にもつながる取り組みを行っている。

問

中学校運動部の休日活動が地域移行も可能になり、令和7年度までを改革推進期間としている。各校の活動状況は。

答

結石教育総務課長

どの学校も部活動にない種目は、クラブチームに参加し、個人での活動の場を広げている。町では、部活動地域移行検討委員会を設置し、地域と連携できる仕組みづくりに努める。



ゴルフ部創設に向けグッドショット!

美咲町議会 議場 50年間の歴史に幕

感謝を胸に旧議場に別れを告げ、希望に満ちた新たな舞台へ



旧中央町時代から50年の長きにわたり、数えきれない質問、質疑、討論が繰り返され、多くの政策、町の進むべき道がこの議場で決定してまいりました。議場は、住民皆様の生活、福祉向上を左右する重要な議案を決定する場所であり、いつ、誰が入っても独特の雰囲気、重みを感じ、神聖なる議場と言われる所以ではないかと考えます。この議場に別れを告げるにあたり、改めまして感謝申し上げます。

次期議会議員各位には、新たな議場で新たな気持ちでご活躍されますことをご期待申し上げます。

美咲町議会議長

松島 啓



令和7年6月定例会の予定

令和7年6月に予定されている美咲町議会定例会は

- ◆6月2日(月)開会～6月13日(金)閉会の12日間
- ◆一般質問は6月3日(火)～6月4日(水)の2日間

(なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます)



投票できるのは
18歳以上

4年間の幕開け 会に期待します！

当選した議員は、4年の任期中、住民の代表として法令にもとづき活動します。町の意味決定に関わる重要な任務です。



中央地域 原田



森谷さん

若者が家を建てやすく生活しやすい環境を、町内全体で積極的に進めてほしい。

中央地域 打穴中



日神山さん

若い世代や女性が、無理なくイキイキと暮らせるような美咲町を目指してほしい。

旭地域 西川



山本さん

安心して暮らせる医療体制と、住んでよかったと誇りが持てる美咲町を作ってほしい。

立候補できるのは
25歳以上

特集

予算委員会の報告

定例会の報告

委員会の報告他

町政を問う一般質問

その他・報告

新生！美咲町議会

未来につなぐ 新生・美咲町議

14名の議員が誕生!



柵原地域 小瀬



牛房さん

町民の思いをしっかりと聞いて行政に届け、日々の生活に反映するようにしてほしい。

柵原地域 塚角



赤本さん

子育て世代や子どもたちの意見も十分に聞いて、町行政を進めるようにしてほしい。

③議員の待遇は

公務の活動日数は議員の役職により大きな開きがありますが、議員の報酬は4段階で設定しています。

■議員の報酬月額

議長(1名)	31万5,000円
副議長(1名)	26万2,000円
常任委員長(4名)	24万6,000円
議員(8名)	24万円

・政務活動費 } ありません
・議員年金 }

②議員の仕事は?

年4回の定例会(3.6.9.12月)に出席して議案の審議を行うほか、委員会や研修があり、議員個人の調査活動にも励んでいます。

また、近年ではできるだけ多くの町民の皆さんと意見交換を行う目的として各種団体など小さなグループを対象にした「出前議会」に取り組んでいます。

①議員の権限は?

もっとも重要な権限のひとつに「議決権」があります。町長が提案する予算案や決算案、条例案などに対し、賛否の議決や修正を行うことができます。

このほか、調査権や意見表明権など、住民を代表して町の意思決定を行うための権限が与えられています。

町民の皆さんこんにちは

美咲町では「学び・つながり・夢を育む 美咲の人づくり」を目指すため、学校・家庭・地域が連携協力し、地域住民等の参画による地域の実情に応じた取り組みである「みさきスタイル子ども応援事業」を展開し、子どもたちにさまざまな体験学習の機会を提供する土曜日等の教育活動を推進しています。

みさきスタイル子ども応援事業 土曜日教育支援事業 第2回

わくわくやなはら



子どもたちの主体性は
確実にアップしています。

●どんな内容ですか

学校では体験できないことを体験しながら、個人の興味や可能性、自主性を伸ばし、子どもたちの育ちを応援します。

●参加対象は誰ですか

美咲町立柵原学園1年生～9年生と保護者、地域の人が対象です。

●いつどこで実施していますか

土曜日、日曜日の午前中に地域の施設などを利用して活動しています。今後は柵原学園内の交流ホールや多目的室も利用します。

●どんなところが特徴ですか

町内および地域内の人材や文化などの良さを見つけ、児童生徒にも知ってもらうため、楽しみながら企画し進めています。

●2024年の具体的な活動内容は何か

- ◎クリニカルアート：町内の方に指導をお願いしました。
- ◎お飾り作り：地域内で毎年お飾りを作られている方に指導をお願いしました。
- ◎寺修行：地域内のお寺にお願いして座禅、写経、茶道体験をしました。

●運営は誰が行っていますか

実行委員会を立ち上げて運営しています。メンバーは柵原地域から参加し協力しながら活動しています。まだまだこれからですが楽しみながら活動していきたいと思えます。

編集 後記

美咲町誕生
20周年と同時
に行われた、美

咲町議会議員一般選挙によって、14人の議員が誕生し、議会に新しい風が入りました。

本庁舎も新しくなり新たな議場で議会活動が始まります。

第6期の議会は、第5期の反省と検証を踏まえて、議会基本条例に基づき住民福祉向上のために、さらなる持続可能な議会活動を目指します。

広報・広聴常任委員会では、美咲町議会だより「みさきテレビ・SNSなどを通じて議会活動を発信し、出前議会・アンケートなどで町民皆さまの声に耳を傾けながら、新たな気持ちで町民の皆さまと」ともに歩む議会」を目指して広報・広聴活動に積極的に取り組んでまいります。

(二船記)

広報・広聴常任委員会

委員長 三船 博之

副委員長 板垣 正寿

中西 伶王

矢吹 一郎

松田 英二

左居 喜次